



★学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましい児童の育成



かしこく

よく考え、くふうする子

やさしく

明るく、すなおな子

たくましく

じょうぶで、たくましい子

めざす児童

「笑顔いっぱい、未来を拓く子ども」

確かな学力の育成

学力の向上



他者と協力しながら、課題を解決していく子どもの育成

- ・ 学習ルール（大南スタンダード）やスキルタイム、国語・算数オリンピック⇒基礎基本の定着
- ・ 情報活用能力向上の時間⇒質の高い探究的な深い学び
ICT 機器＝思考・表現の道具
探究の過程＝課題設定、情報収集・分析、まとめ、表現
- ・ ICT 機器の効果的な活用⇒個に応じた指導・支援
- ・ かかわり・対話を生かした「協同解決型学習」の継続
⇒言語活動の充実した協同的な授業

人のかかわり
チームで協力・ウェルビーイングの向上

豊かな心の育成

人間関係力の向上

思いやりがあり、他者とよりよく生きる子どもの育成

- ・ 「協同解決型学習」の効果的な活用
⇒共感的人間関係の構築
（「おいてけぼりをつくらない」「困っているときは助ける」）
- ・ 「発見！かっこいいカード」
⇒他を認め尊重する態度の育成、自己肯定感の向上
- ・ 心の天気・あのねポスト、心のアンケート、教育相談
⇒困り感やいじめへの早期対応
- ・ 道徳科の授業、「親子道徳」「いのちの授業」や人権集会、福祉教育、情報モラル教育等⇒心の教育推進
- ・ 異学年交流活動（縦割り清掃、ペア学年交流）や幼保小中の連携・交流（小中合同あいさつ運動、ごみゼロ運動、相互参観・相互交流・体験入学等）
⇒豊かな人間関係の構築
- ・ 読書活動、芸術鑑賞会の実施
⇒豊かな感性



現職教育

「質の高い探究的な学びの実現に向けて」

～情報活用能力の育成～

【探究的な学びの推進】

- ・ **カリキュラムの連動**：「総合」と「教科」の時間の連結、年間15時間の「情報活用の時間」の確保
- ・ **探究プロセスの徹底**：児童の興味を起点とした「問い」づくり、収集・分析・表現のサイクルの定着
- ・ **ICT環境の充実**：クラウド活用による協同的な学び、客観的根拠に基づく論理的思考の育成

【授業展開と対話の活性化】

- ・ **学びの構造化**：「個人・グループ・全体・個人」を往還する対話とアウトプットの重視
- ・ **対話スキルの育成**：肯定的・共感的な傾聴態度、相手の反応を意識した伝達スキルの指導

信頼される学校づくり…めざす児童育成のための基盤づくり



- ・ 信頼される教師であるための力量向上…校内現職教育、研究授業、研修の充実、視察
- ・ 家庭や地域との連携・協働…学校運営協議会の充実、学校支援ボランティアの活用
- ・ 情報発信と学校の公開…学校ウェブサイト、授業参観
- ・ 安全安心…施設設備の安全管理点検、救命救急講習、不審者対応訓練
小中合同引き渡し訓練、教育相談、あのねポスト、一日観察日、心の天気
- ・ 心身ともに健康で、笑顔で子どもたちと向き合う教職員…
勤務時間の明確化、業務の精選、作業の効率化等の働き方改革の推進

健やかな体の育成

いのちを大切に、健やかに生活する子どもの育成

- ・ 体育の授業や体育的行事の工夫⇒体を動かす楽しさや喜び
- ・ リズムなわとび等 ⇒楽しく適度な運動推進
- ・ 家庭・地域と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」「スマホ使用のルールづくり」 ⇒望ましい生活習慣の定着
- ・ 避難訓練、危険予知トレーニング、着衣泳等の実施
⇒安全意識の向上と実際に行動できる力の育成
- ・ 相談活動の充実⇒心の安定といのちを大切にする意識の向上

【国・県・市の施策】

国：学習指導要領 県：あいちの教育ビジョン2030 市：学校教育推進プラン

子どもの課題と、笑顔で子どもたちと向き合う教職員の課題

・ 授業力の向上（子＝楽しい授業→楽しい学び→楽しい学校）

・ 学級経営力の向上（子＝仲間に認められる→自信・協力→楽しい学校）

児童の実態と目標	R5現状⇒	R6現状⇒	R7現状⇒	R8目標
「授業がよくわかる」	46%	51%	52%	54%
「話し合い活動は楽しい」	60%	56%	64%	64%
「やりたいことや目標をもっている」	90%	89%	88%	92%

	R5現状⇒	R6現状⇒	R7現状⇒	R8目標
「自分には良いところがある」	42%	50%	54%	54%
「人が困っていたら助けている」	58%	62%	71%	70%
「学校が楽しい」	63%	68%	80%	80%